

第54回

東日本学生体操競技選手権大会

要 項 (案)

主催 関東学生体操連盟
東北・北海道学生体操連盟

主管 関東学生体操連盟
栃木県体操協会

後援 公益財団法人 日本体操協会
宇都宮市教育委員会
全日本学生体操連盟

協賛 セノー 株式会社
株式会社 ササキスポーツ
京王観光 株式会社

1. 期間

令和3年 5月21日(木) 会場セッティング、本会場練習
22日(金) 審判会議、監督会議、競技1日目
23日(土) 競技2日目

2. 会場

会 場 栃木県総合運動公園 東エリアメインアリーナ
所在地 〒321-0152
栃木県宇都宮市西川田4-1-1

3. 参加資格

- (1) (公財) 日本体操協会の会員登録システムから、各大学の所在地の都道府県体操協会に令和3年度の「所属団体・選手登録」(登録受付開始: 令和2年3月15日～)を済ませ、その後、全日本学生体操連盟に「所属団体・選手加盟(連盟登録)」(登録受付開始: 令和2年3月15日12:00～)を済ませた者。登録・加盟は4月30日(月)までに完了すること。

- (2) 全日本学生体操連盟への「選手加盟（連盟登録）」が4回以下の者で、東日本学生体操連盟（東北・北海道支部、関東支部）に所属する大学（短期大学、専修学校、高等専門学校を含む）の者。

4. 出場枠と参加人数

本大会の出場枠は、以下の班と組で編成される。

<男子>

・4班編成(7組+6組+7組+6組=26組)

・チーム19校 個人42名

<女子>

・4班編成(5組+5組+5組+4組=19組)

・チーム13校 個人36名

出場資格は、以下の(1)～(3)の順で与えられる。(2)の一部校特別枠が適用される場合、(3)の出場枠を減らすこととする。また、(3)の女子チーム数については、本大会への2部校の出場校数が5校以上となるよう、チーム数と予選通過個人選手数を調整することがある。

- (1) **一昨年度**の東日本学生体操競技選手権大会（以下：東日本インカレ）において出場資格を得たチーム。なお、個人の出場枠は、同大会団体総合選手権の成績により決定する（以下、チーム出場大学に割り当てられた個人枠での出場選手を「チーム個人選手」と記す）。

<男子>

・チーム 団体総合選手権上位12校

・チーム個人選手 24名

1位～4位校 3名

5位～8位校 2名

9位～12位校 1名

<女子>

・チーム 団体総合選手権上位8校

・チーム個人選手 20名

1位～4位校 3名

5位～8位校 2名

- (2) 1部校特別枠

今年度1部校の大学は、上記(1)に該当しない場合でもチーム、及びチーム個人選手**(男子は1名、女子は2名)**の出場を認める。

- (3) **今年度**の東日本学生体操競技グループ選手権大会（以下：グループ大会）において出場資格を得たチーム及び個人。**なお、この出場資格の確認は、グループ大会での「東日本インカレ通過者会議」において最終決定し、その後の繰り上げは行**

わない。（以下、グループ大会において個人で出場資格を得た選手を「予選通過個人選手」と記す）。

<男子>

- ・チーム 7校（**今年度**のグループ大会団体総合選手権上位7校）
- ・予選通過個人選手 18名（本大会チーム出場大学以外の大学に所属する選手で、**今年度**のグループ大会個人総合選手権上位18名）

<女子>

- ・チーム **5**校（**今年度**のグループ大会団体総合選手権上位**5**校）
- ・予選通過個人選手 **16**名（本大会チーム出場大学以外の大学に所属する選手で、**今年度**のグループ大会個人総合選手権上位**16**名）

※ 同じ大学に所属する5名の選手が予選通過個人選手となった場合、当該選手所属大学の本大会へのチーム出場を認める。但し、これによる予選通過個人選手の繰り上げはしない。

※ チーム通過校が規定数より少なかった場合、1チームにつき予選通過個人選手を5名（5枠）増やすこととする。

5. 該当校及び参加人数

(1) チーム編成について

- ・チーム編成は各大学単位とし、各校1チームとする。
- ・男女とも、1チームは最大6名（最少5名）とする。

(2) 該当校及び参加人数

<男子> チーム19校・個人42名

① **第52回**東日本インカレ団体総合選手権成績より

- ・チーム 12校
 - ・チーム個人選手 24名
- | | | | |
|------------------|----|-------------------|----|
| 1. 日本体育大学 | 3名 | 7. 日本大学 | 2名 |
| 2. 順天堂大学 | 3名 | 8. 国際武道大学 | 2名 |
| 3. 仙台大学 | 3名 | 9. 東海大学 | 1名 |
| 4. 筑波大学 | 3名 | 10. 慶應義塾大学 | 1名 |
| 5. 早稲田大学 | 2名 | 11. 国土舘大学 | 1名 |
| 6. 駒澤大学 | 2名 | 12. 明治大学 | 1名 |

② 1部校特別枠 該当校なし

③ **第36回**グループ大会成績より（グループ大会終了後、HPに掲載）

- ・チーム 7校
- | | |
|----|----|
| 1. | 5. |
| 2. | 6. |
| 3. | 7. |

4.

・予選通過個人選手 18名

1.	7.	13.
2.	8.	14.
3.	9.	15.
4.	10.	16.
5.	11.	17.
6.	12.	18.

<女子> チーム13校・個人36名

① 第52回 東日本インカレ団体総合選手権成績より

・チーム 8校

・チーム個人選手 20名

1.	日本体育大学	3名	5.	順天堂大学	2名
2.	国士舘大学	3名	6.	東京女子体育大学	2名
3.	筑波大学	3名	7.	仙台大学	2名
4.	日本女子体育大学	3名	8.	東海大学	2名

② 1部校特別枠 該当校なし

③ 第36回 グループ大会成績より（グループ大会終了後、HPに掲載）

・チーム 5校

1.	4.
2.	5.
3.	

・予選通過個人選手 16名

1.	9.
2.	10.
3.	11.
4.	12.
5.	13.
6.	14.
7.	15.
8.	16.

6. 補欠について

- (1) チームの補欠は2名までとする。但し、チーム個人選手が補欠を兼ねてもよい。
- (2) 予選通過個人選手についての補欠は認めない。

7. 選手変更・棄権について

- (1) 選手変更・棄権の申請は、監督会議開始までに書面で受付に提出すること。ただし、競技2日目に出場する選手が1日目の本会場練習、又はサブ会場練習時等で怪我をして出場不能となった場合、大会本部への申請により監督会議終了後も選手変更を認める場合がある。
- (2) チーム出場の資格を有する選手は、予めID申請を行ったチーム5～6名、及び補欠2名の計5～8名であり、その他の選手との変更は認めない。
- (3) チーム個人選手の変更は、全日本学生体操連盟に加盟した選手であれば認める。

8. 競技方法について

(1) 適用規則

- ・ FIG 競技規則に準ずる。

<男子>

2017年版採点規則、体操競技情報最新号を適用する。

<女子>

2017年版採点規則、体操競技情報最新号を適用する。

(2) 順位の決定

- ・ 団体総合選手権・各種目上位5名の得点の総合点で競う。
- ・ 個人総合選手権、種目別選手権・全種目の総合点で個人総合選手権、各種目の得点で種目別選手権を競う。
- ※ 0点は棄権ではなく、得点として扱う。
- ※ 新技申請については、**5月21日(金)**15時までに所定の用紙にて受付に提出すること。
ただし、選手変更による新技申請の場合は、監督会議開始までに受付に提出すること。

(3) 班編成

- ・ 昨年度東インカレ及び今年度グループ大会の成績により決定する。

(4) 開始種目

- ・ 大会本部の抽選により決定する。なお個人選手の演技順は繰り上げに統一する。

(5) 器具について

- ・ 男女共、(公財)日本体操協会認定器具を使用する(詳細は競技部報に記載する)。

9. 表彰

- (1) 団体総合選手権の部・・・優勝杯、メダル1～3位、賞状1～8位
 - (2) 個人総合選手権の部・・・盾1～3位、賞状1～8位
 - (3) 種目別選手権の部・・・メダル1～3位、賞状1～8位
- ※ 同点は同順位として表彰する。

10. 帯同審判員派遣について

- (1) **第36回**グループ大会に出場した大学以外で本大会にチーム参加する大学は、男子3名、女子2名の1種もしくは2種審判有資格者の審判員を派遣しなければならない

らない。尚、その審判に対する費用は全てその大学が負担しなければならない。また保険料、救護費については、派遣する人数分の費用（1名につき合計700円）を支払うこと。

- (2) 学生は帯同審判員として派遣することは出来ない。ただし、審判員が不足した場合は、本部から学生の審判員を依頼することがある。
- (3) 審判員を派遣できない大学は、25,700円（保険料400円、救護費300円込み）をもって大会本部に依頼すること。
- (4) (公財)日本体操協会委員を派遣する大学は、予め本部の承認を得なければならない。
- (5) 各大学指導者（部長、監督、コーチ）を帯同審判員として派遣する場合は、「審判員・指導者兼任願い」を大会申し込み1次締め切りの書類と合わせて提出しなければならない。審判員となる指導者は、審判会議以降の大会期間中は所属選手の練習を指導することはできない。
- (6) 審判構成は、その全てを大会本部に一任すること。帯同審判員はE審判だけでなく、D2審判員、計時審、線審に配置されることがある。

1 1. 補助役員派遣について

- (1) 男女共、本大会にチーム参加する大学は、3名の補助役員を派遣しなければならない。なお、その補助役員に対する費用は全てその大学が負担しなければならない。
- (2) 補助役員を派遣できない大学は、1名につき7,700円（保険料400円、救護費300円込み）をもって大会本部に依頼すること。

1 2. その他

- (1) 競技区域に入れる者は全ての競技において、大会役員、審判員、補助役員、選手、補欠、チームリーダー、コーチ（個人4名以上は2名まで、3名以下は1名）、部長、監督、主務に限る。ただし補欠は監督会議以降アリーナ内には入ることは出来ない。

また部長、監督、主務は競技中の競技区域に入ることは出来ない。なお、音楽係のID保持者は音楽席のみで活動出来る。

また、女子の個人選手（3名以下）に限り、段違い平行棒コーチを一名追加できるものとする。

※ ID保持者であってもみだりに競技区域に立ち入ることを禁止する。

- (2) トレーナー申請を希望する大学は所定の申請書を、本大会申し込み1次締め切までに提出すること。なお、トレーナーは指定の場所のみで活動すること。

※トレーナーの申請人数は男女とも各1名とする。

※メンタルトレーナーもこのトレーナーと同様の扱いとする。

- (3) 音楽の再生機器は各大学で準備すること。また、iPodなどのポータブルオーディオプレーヤーを使用する場合は、各大学専用のスピーカーを用意すること。
- (4) セッティング・カッティングは全員参加とする。セッティングに参加した大学のみ

5月21日(金)の会場練習を出来るものとする。参加出来ない場合は所定の用紙に理由を書いて提出し、許可を得ること。

(5) 会場の冷暖房については気温状況に応じて使用することとする。なお、使用する場合には監督会議で報告し、実費を徴収することがある。

(6) 大会中の演技の撮影には、事前の撮影許可を必要とする。撮影を希望する大学は、所定の申請書を大会申し込み最終締め切りまでに提出すること。

(7) 新型コロナウイルスの状況によっては要項内容を変更する場合がある。

13. 参加申し込みについて

(1) 参加費(予定)

チーム

本年度東インカレ該当校 50,000円

グループ選手権大会通過校 25,000円

個人(1名につき)

本年度東インカレ該当校 10,000円

グループ選手権大会通過校 5,000円

保険料(損害賠償含)(選手及び補欠、補助役員、帯同審判員 1名につき) 400円

救護費(選手及び補欠、補助役員、帯同審判員 1名につき)

300円

帯同審判委員依頼費(1名につき) 25,700円

補助役員依頼費(1名につき) 7,700円

(2) HP上にある所定の用紙に必要事項を記入の上、大会本部にメール又は郵送にて申し込むこと。

(3) 締め切り期日

1次締め切り(参加申込書)・・・4月16日(金) 18時必着

最終締め切り(参加申込書以外)・・・4月23日(金) 18時必着

HP 部報掲載予定日・・・4月30日(金)

HP 部報完全版掲載予定日・・・グループ大会終了後掲載

※ プログラム作成等の準備がある為、締切日を厳守すること。

※ 部報掲載日がグループ大会前となるためグループ大会終了後、通過者を加えた完全版を後日掲載する。

(4) 参加費は、本部所定の銀行へ1次締め切りまでに必ず大学名・男女別で振り込むこと。

振込例：女子→ジョガクレンダイガク

男子→ダンガクレンダイガク

(5) 参加費振込先

三井住友銀行 渋谷支店 店番号654

普通口座番号 9167059

東日本学生体操競技選手権大会

担当者：小賀坂 楓

(6) 締め切り期日以降の申し込みは受け付けない。締め切り期日以降の欠場は認めるが、原則として参加費は返金しない。

(7) 申し込み・問い合わせ先

〒160-0013

東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 8階 (公財) 日本体操協会気付

関東学生体操連盟 第53回体操競技東インカレ係

FAX 03-6455-4038

E-mail gymgakurenn@yahoo.co.jp (問合せ先)

HP <http://kantogakurenn.noor.jp>

担当者 (男子) 湯川 晋之介 (女子) 羽山 千咲

14. 第75回全日本学生体操競技選手権大会出場について

- (1) 令和3年度の1部校で東・西インカレに出場した大学。

なお、個人の出場枠は、令和元年度の全日本インカレ団体総合選手権の成績により決定する（以下、チーム出場大学に割り当てられた個人枠での出場選手を「チーム個人選手」と記す）。

<男子>

・チーム 12校

令和元年度全日本インカレ団体総合選手権の成績より

・チーム個人選手 42名

1～3位校 各5名

4～6位校 各4名

7～9位校 各3名

10～12位校 各2名

(含1部昇格校)

<女子>

・チーム 10校

・チーム個人選手 30名

1～3位校 各4名

4～7位校 各3名

8～10位校 各2名

(含1部昇格校)

- (2) 令和3年度の2部校で東・西インカレにおいて出場資格を得たチーム及び個人（以下、東・西インカレにおいて個人で出場資格を得た選手を「予選通過個人選手」と記す）。

<男子>

・チーム 12校（令和3年度の東・西インカレ団体総合選手権上位各6校）

・チーム個人選手 18名（令和3年度の東・西インカレ団体総合選手権の成績より）
1～3位校 各2名 4～6位校 各1名

・予選通過個人選手 24名（上記12校以外の大学に所属する選手で、令和3年度の東・西インカレ個人総合選手権上位 各12名）

<女子>

・チーム 8校（令和3年度の東・西インカレ団体総合選手権上位各4校）

・チーム個人選手 12名（令和3年度の東・西インカレ団体総合選手権の成績より）
1・2位校 各2名 3・4位校 各1名

・予選通過個人選手① 2名（上記8校以外の大学に所属する選手の令和3年度の東・西インカレ個人総合得点を比較し、その上位2名）

・予選通過個人選手② 16名（上記8校以外の大学に所属する選手から上記予選通過個人選手①を除いた、令和3年度の東・西インカレ個人総合選手権上位各8名）

※ チーム通過校が規定数より少なかった場合、1チームにつき予選通過個人選手(女子においては予選通過個人選手②)を5名(5枠)増やすこととする。

※ 本大会チーム出場大学より、上記チーム個人選手枠の返上があった場合、予選通過個人選手(女子は予選通過個人選手①)の枠を増やすこととする。チーム個人選手枠の返上は、東・西インカレにおける全日本インカレ通過者会議までとする。

※ 同じ大学に所属する6名の選手が予選通過個人選手となった場合、当該選手

所属大学の本大会へのチーム出場を認める。但し、これによる予選通過個人選手の繰り上げはしない。(総会審議事項)

※ 東・西インカレにおける通過者会議で決定した予選通過個人選手から大会申し込み最終締め切りまでに棄権の申し出があった場合、東・西インカレそれぞれにおける次点の選手を順次繰り上げることをとする。

(3) 一部校・二部校共通 締め切りについて

1次締め切り (参加申込書のみ)	7月10日 (土)	18時必着
最終締め切り (参加申込書以外)	7月24日 (土)	18時必着
HP 部報掲載予定日	7月31日 (土)	

同点順位について

①表彰について

団体総合選手権 個人総合選手権 種目別選手権	同点は同順位として表彰する。
------------------------------	----------------

②通過に関する順位付けについて

団体総合選手権	<ul style="list-style-type: none"> 全種目（男子6種目、女子4種目）のチーム得点の中で、最低点の種目得点を除いた残りの種目（男子5種目、女子3種目）の得点の合計が高いチーム。 それでも同点の場合は2種目の最低得点を除く残りの合計の高いチーム。（さらに同点の際は、男子5種目、女子3種目まで最低点を除き、残りの種目の合計の高いチーム） 最低種目得点の男子5種目、女子3種目を除いても尚同点の場合は、同順位とする。
個人総合選手権	<ul style="list-style-type: none"> 団体と同じ方法を用いて、残りの種目合計の高い者。
種目別選手権	<ul style="list-style-type: none"> その大会における個人総合順位の高い者。

※この方法は、学生連盟が主催とする大会のみ適用とする。